

両津火力発電所「蓄電池システム」の設置工事開始について  
～佐渡島における最適な需給制御の実現に向けて～

当社は、佐渡島における再生可能エネルギーの更なる導入拡大に向け、再生可能エネルギーや蓄電池、内燃力発電、エネルギーマネジメントシステム（EMS）などを組み合わせた最適な需給制御の実現に向け取り組むこととしており、その一環として、両津火力発電所構内（新潟県佐渡市）に蓄電池システム（出力5,000kW）を新設する計画としております。

（2021年10月5日お知らせ済）

こうした中、本日、両津火力発電所蓄電池システムの設置工事を開始いたしました。

2023年12月の営業運転開始に向けて、安全確保を最優先に、着実に建設工事を進めてまいります。

当社は、「東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”」の実現に向け、電力ネットワークの高度化を通じて、安定供給の維持と電源の脱炭素化に向けた環境整備など、カーボンニュートラルに積極的に挑戦してまいります。

以上

（別紙）両津火力発電所「蓄電池システム」の概要

（参考）佐渡島における再生可能エネルギーの更なる導入拡大に向けた取り組みの概要

## 両津火力発電所「蓄電池システム」の概要

### 1. 蓄電池システムの概要

出力 / 容量	5,000kW / 5,000kWh
運転開始	2023年12月(予定)
蓄電池設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>蓄電池(リチウムイオン)コンテナ 3台</li> <li>PCS(パワーコンディショナー) 3台</li> <li>6kV昇圧変圧器 3台</li> </ul>
受電設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>連系設備コンテナ 1台</li> <li>EMS(エネルギーマネジメントシステム) 1台</li> </ul>

### 《参考》既存の両津火力発電所設備

号機	出力(kW)	燃料	運転開始	運転状況
5号機	7,500	重油	1974年	運転中
6号機	7,500		1975年	
7号機	7,500		1978年	
8号機	7,500		1981年	
9号機	10,000		1988年	

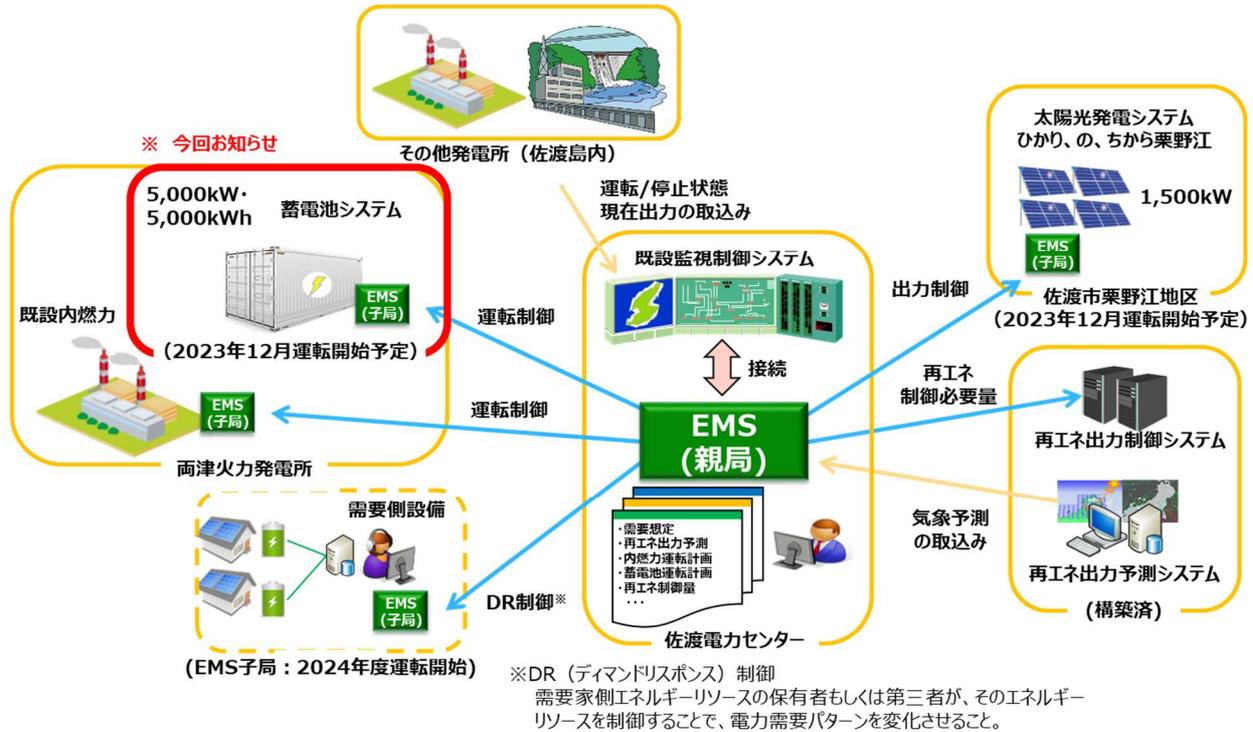
### 2. 両津火力発電所全景



※国土地理院撮影の空中写真を加工して作成

# 佐渡島における再生可能エネルギーの更なる導入拡大に向けた

## 取り組みの概要



### 【事業概要 (予定)】

工期	着 工：2022 年度 運転開始：2024 年度	
設備、 場所 (規模) 運転開始予定	EMS 親局 (新設)	佐渡電力センター 2024 年度運転開始
	太陽光発電 (新設)	佐渡市栗野江地区「ひかり、の、ちから、栗野江」 (1,500kW) 2023 年 12 月運転開始
	内燃力発電 (既設)	両津火力発電所
	蓄電池 (新設) ※	両津火力発電所構内 (5,000kW・5,000kWh) 2023 年 12 月運転開始
	需要側設備	検討中 2024 年運転開始

※ 今回お知らせ

以 上